

# さかいで

2016年4月号 No.85

市立病院だより



**特集 アレルギーと呼吸器疾患について……3P**  
**ストレスと胃の関係について……4P**  
**お家でもチェック!「飲み込む力」の検査について……5P**  
**新任ドクターよろしくお祈いします……8P**



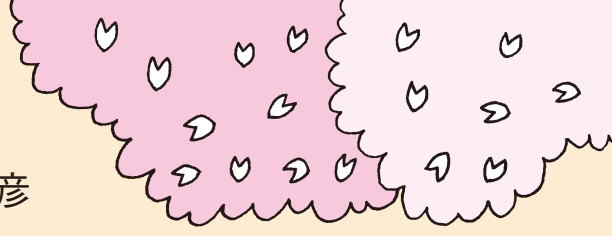
## 就任のご挨拶

新院長 岡田節雄

2016年（平成28年）4月、前院長砂川正彦先生後任の人事となりました。坂出市立病院には1999年1月から4年間勤務、その後香川大学消化器外科に転勤し、2004年7月から再度当院に勤務しお世話になっております。当院は地域密着型急性期病院として診療する為、2014年12月当地に新築移転しました。施設の充実に合わせて、診療科の拡充、療養環境の整備、高度医療機器の整備等を現在進行形で行い、坂出市民・近隣住民の方々の期待に添える医療の提供に職員一丸となって邁進しております。

医療界における2025年問題について少しご紹介致します。9年後に迫った2025年、第一次ベビーブームであった昭和22年～24年生まれといわゆる団塊の世代が一気に75歳以上の後期高齢者群になり、日本全体が本格的な超高齢化社会に突入します。現行の医療体制では破綻すると言われており、行政主導の地域包括ケアシステムに代表される地域医療構想の実質的確立が急務となっております。医療界における2025年問題は、少ない医療資源を有効に活用し、質の向上とコストダウンなる相反する宿題を解決しなければなりません。少ない費用で高齢者の医療・介護・支援を地域で効率的に行う医療体系を早急に構築する必要があります。医療は人間社会において必要不可欠な領域ですので、姿形は変貌しながらも必ず存続する為、難問ではありますが解決して行く必要があります。医学教育・啓蒙に始まり、実践の医療、介護に至るまで効率的な実施を時代や地域の特性に沿って行う必要があります。高齢化や人口減少の激しい坂出・中讃地域における当院の役割を鑑みながら先頭に立って運営していきたいと考えています。

今後とも皆様方のご協力・ご支援を宜しくお祈い致します。



## 退任のご挨拶

前院長 砂川正彦

平成28年3月31日を持ちまして、退職することになりました。

1981年6月1日、小児科医として坂出市立病院へ赴任してから、約35年、2007年1月、塩谷泰一名誉院長の後を継ぎ、10年の歳月が過ぎました。

長く一か所で小児科医を続けていますと、他科の医師とは違った喜びを見つけることができました。患者さんが元気になるのはもちろんですが、患者さんが大人になり、次の世代の子どもを連れて来てくれるようになりました。平成22年には、患者さんがお孫さんを連れてくるまでになり、自分の年齢を実感しました。最近では、患者さんであった子どもが、当院へ就職し、一緒に仕事をできるようになり、最高の幸せを感じています。

新しい年度が始まり、本当の意味での新病院が始動します。次の世代が、新しい力を吹き込んでくれるものと期待しております。私も微力ながら、小児科医として今しばらく仕事をさせていただくことになりました。

最後になりましたが、これまでご指導、ご支援いただいた皆様へ感謝を申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。



## 就任のご挨拶

新副院長 中村洋之

2016年4月より副院長の任を受けることとなりました。

坂出市立病院には、1999年7月より15年間以上にわたってお世話になっており、現在まで、呼吸器内科医長・診療部長として、肺炎・喘息・COPD・肺癌など呼吸器疾患を中心に診療し、多くのことを学ばせて頂きました。

坂出市立病院は2014年12月に新病院移転し、療養環境の改善だけでなく、麻酔科・腎臓内科・呼吸器外科など診療科の拡充や医療機器の整備をおこない、より高度な医療を提供できるようになりました。しかし、国の医療政策の基本方向として、「治す医療」から「治し、支える医療」への転換が求められています。そのため、皆様が可能限り住み慣れた地域で、質の高い医療だけでなく、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる「地域包括ケアシステム」構築に、他の医療機関と連携しながら取り組んでまいります。坂出市立病院の基本理念である、「市民が安心して暮らせ、心の支えになる病院に」なるよう一層の努力をしておりますので、今後ともご指導ご支援のほど、何卒宜しくお願い致します。

## 就任のご挨拶

新看護部長 橋本 澄



私は、昭和59年に坂出市立病院に就職し今年で32年目をむかえます。平成22年からは副看護部長として病棟師長を兼務しておりましたが、この度、看護部長の任を受けることとなり、これまで以上の重責に、慌ただしさの中にも緊張感のある毎日を送っております。

当院は平成26年の新病院開院から今年で2年目となります。「市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院に」を基本理念に掲げ、地域密着型の病院として職員一丸となって業務にあたっております。私も微力ではありますが、看護体制のより一層の充実を目指して、日々職務に取り組んでまいりたいと思います。今後とも変わらぬご指導ご支援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

## 退任のご挨拶

前看護部長 高橋安子



この度平成28年3月31日を持ちまして坂出市立病院看護部長を退職いたしました。

昭和56年に就職して以来、約35年間もの長い間、患者さんや市民の皆様へ支えていただいたことに深く感謝申し上げます。また新病院移転に際しましても大変なご理解とご協力を頂戴し、重ね重ねお礼を申し上げます。有難うございました。

今日まで様々な苦労もありましたが、患者さんの健康回復と看護職員の成長を励みに仕事を続けられましたことを幸せに感じています。また、愛着ある病院が発展していく中に自分の身を置き、共に歩ませていただいた事も大きな誇りとなっています。

これからも市民の皆様のご健康と坂出市立病院の益々の発展を祈念して退職の挨拶とさせていただきます。

## 就任のご挨拶

新事務局長 前谷博司



この度の4月異動で、事務局長を拝命いたしました。実は、私は平成20年までの10年間、市立病院の庶務課と医事課両方に在籍しておりましたが、それから10年経たないうちに、また市立病院に戻ってきた次第であります。

その間、病院職員の皆様方の大変なご努力により、市立病院は、地域を支える素晴らしい新病院へと生まれ変わりました。

この素晴らしい新病院に勤務することは誠に光栄であり、本当に幸せなことと感じておりますとともに、坂出市立病院の名を穢すことのないよう、決意をもって職務を全うすべく努力してまいりますので、宜しくご指導いただきますようお願いいたします。

## 退任のご挨拶

前事務局長 宮竹光浩



この3月・4月は、異動・転勤・入社・退職・卒業・入学など出会いと別れの時期であります。私事ではありますが3月31日をもって定年退職いたしました。在職中は患者様をはじめ市民の皆様には大変お世話になりました。5年間の市立病院勤務でありましたが、その間には病院の新築建て替え、移転に携わらせていただきました。改めまして、多くの方々のご理解とご協力、ご支援に感謝申し上げます。

今後も市立病院が基本理念である「市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院に」を目指し、ますます地域医療に貢献し、市民の安全、安心を守り市民から頼られる病院でありますように心からご祈念申し上げます、退職のご挨拶とさせていただきます。

## アレルギーと呼吸器疾患について

内科医員 井上卓哉



4月になり、花粉症の方にはつらいシーズンとなりました。花粉症はアレルギー性鼻炎の一種であり、名前の通りアレルギー疾患の一つです。呼吸器領域におけるアレルギー疾患としては喘息が多く、春は喘息の患者さんも悪化しやすいため、注意が必要です。

One way, one diseaseという考え方があります。これは鼻、気管、肺は連続しているため、アレルギー性鼻炎と喘息は併存しやすく、相互に影響を及ぼす可能性があるというものです。気管支喘息の患者さんの約70%にアレルギー性鼻炎を合併、アレルギー性鼻炎の患者さんの約40%に喘息を合併していることがわかっており、それぞれが悪影響をおよぼすことがあるため、喘息とアレルギー性鼻炎の両方を持たれている患者さんは同時に両方の治療を行う必要があります。他にも、喘息の悪化因子としては喫煙、肥満、ストレス、逆流性食道炎、大気汚染など様々な要因があり、これらについても生活習慣の改善や治療を平行して行うことが重要となります。

喘息というと子供の病気というイメージがあります。確かに小児では乳児期の発症が多く認められますが、実際は全年齢の方で発症される可能性があり、特に中高年での初発もめずらしくありません。喘息は死に至る病であり、日本では1950年に16,000人もが喘息で亡くなっていました。現在では2,000人以下に減少していますが、これは治療薬として吸入ステロイド薬が普及したことによりです。喘息の治癒は困難な場合も多いですが、早期に吸入ステロイドによる治療の開始と、症状改善後も自己判断で中止するのではなく医師の指示のもと、予防的に吸入ステロイドを継続（段階的に減量）することが大切です。また最近では、好酸球性副鼻腔炎症に対して吸入ステロイドを鼻から吐く治療が有効という報告もあります。

アレルギーをコントロールして快適に春を過ごしましょう。

# ストレスと胃の関係について

内科医員 多田尚矢

仕事や人間関係の悩みなど、ストレスを感じたときに胃痛（みぞおち周辺の痛み）を自覚したことがある人は意外と多いのではないのでしょうか。胃はストレスを最も感じやすい臓器であり、顔の次に感情が出やすい部分と言えます。食欲がなくなったり、すぐに満腹感がでたり、吐き気を催したりと胃に関する様々な症状が出現します。ストレスによって自律神経のバランスが乱れ、胃腸運動機能の低下や知覚過敏、さらには胃酸の分泌が過剰になることでこれらの症状が出現します。これらの症状がありながら、胃カメラや血液検査などでその症状を説明する原因が特定できない病態を機能性ディスペプシアといいます。具体的には胃もたれなどが週に数回、みぞおちの症状や痛みが週に1回以上ある状態が何ヶ月も続いているれば、その疑いがあると言えます。機能性ディスペプシアは一般人口の約15%にみられる頻度の高い疾患です。もちろんストレスだけではなく、生活習慣も影響してくるので、治療としてはまずは規則正しい生活や暴飲暴食の是正などを行う必要があります。また、胃酸が過剰に分泌される状態が続けば、胃酸によって胃の粘膜が傷つけられ、急性の炎症を起こすこともあります。急性胃炎や胃潰瘍といった状態です。これらは胃カメラで診断し、安静の上、原因の除去および胃酸分泌抑制薬などを使っての保存的な治療が基本となります。中でも大切なことは原因の除去ですが、急性胃炎や胃潰瘍まで至る場合の多くは、ストレスだけではなく、ヘリコバクター・ピロリ菌感染や鎮痛薬の多用など胃内環境のバランスを崩す様々な要因が複合的に認められます。再発を防ぐためにもこれらを合わせて治療することが必要です。このようにストレスと胃炎は切っても

切れない関係にあります。ストレスを上手に解消するための工夫やリラックスできる趣味のレパートリーをたくさん持つようにしましょう。また、胃痛が長期間続くときや激しい痛みがあるときは重い疾患が隠れている場合もありますので、ストレスのせいだと決めつけずに早めに医療機関を受診しご相談ください。



## 「骨粗しょう症」を

人間の身体は、通常大人で206個の骨から出来ており、骨には 身体を支える、脳や内臓などの大切な臓器を保護する、運動を行う、血液をつくる、ミネラルを蓄えるなどの働きがあります。

私たちにとって大切な骨ですが、骨の中がスカスカのスポンジ状になり骨がもろくなる「骨粗しょう症」になると、骨折しやすくなります。

「骨粗しょう症」を予防するために、食事ではどのようなことに気をつければよいのでしょうか？

### カルシウム

1日当りの推奨量は成人男性で650～800mg 女性で650mgです。平成26年国民健康・栄養調査によると、日本人の平均カルシウム摂取量は約500mgで、今の食事にコップ1杯の牛乳（約200mgのカルシウムが摂取できます）を足すことで、改善されます。高齢になると、腸での吸収能力が落ちると言われているので、より積極的な摂取を心掛けましょう。

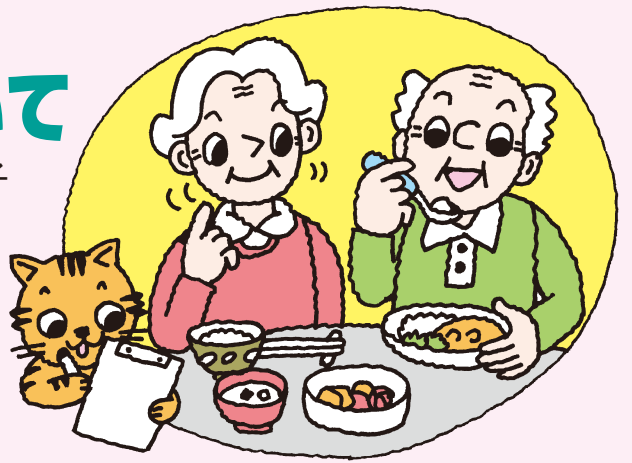
お家でもチェック!

# 「飲み込む力」の検査について

言語聴覚士 齊藤恵美子

「誤嚥」という言葉を耳にしたことはありませんか? 誤嚥は飲み込む力が落ちると起こりやすくなります。リハビリテーション科では、主治医からの指示で「嚥下スクリーニング検査」という飲み込む力の評価や安全な食事のとり方などを提案させていただいております。どのようなことを評価するのか、簡単に説明させていただきます。

まず大事なものは、しっかり起きているかどうかです。生活リズムが乱れたり環境が変わると、夜間良く眠れず昼間にウトウトする時間が長くなります。眠たいときには飲み込むことに集中できなくなるので、しっかり起きているかを確認する必要があります。次に口の状態です。唇・舌に麻痺が無いか、動くスピードが遅くなっていないか、どれくらいご自分の歯が残っているか、入れ歯を使用しているか、入れ歯は合っているかなどをチェックします。口の動きが鈍くなっていたり、歯



の状態が悪いと食べ物をしっかり噛んで飲み込みやすい形にまとめることが難しくなったり、お口の中に食べかすが残りやすくなったりします。しっかり起きていて、口の状態に大きな問題が無ければ実際に少量のお水を飲んでいただき、むせないかどうかを確認します。

以上のことを踏まえて、安全にお食事を食べていただくために、主治医と一緒にどういったお食事の形態が良いのかなどを検討して提案させていただきます。飲み込みのことで不安があれば、気軽に主治医にお尋ねください。

## 予防するために

管理栄養士 中村佳代

### たんぱく質

たんぱく質はカルシウムとともに骨を作る栄養素です。魚・肉・卵・大豆製品に多く含まれます。

### ビタミンD

カルシウムの吸収を助ける栄養素です。日光に当たることにより皮膚で産生されますが、加齢にともない皮膚で合成する力が弱くなるので、食事から摂るようにしましょう。魚類（特に青魚）・レバー・干しいたけなどに含まれます。

### ビタミンK

骨の形成を促す栄養素で、納豆・緑黄色野菜・海そう類・乳製品がよい供給源です。（内服薬によっては食べてはいけない場合があるので主治医等に確認しましょう）



### イソフラボン

骨のカルシウムが溶け出すのを抑制する働きがあると考えられ、大豆製品に多く含まれます。

身体に良いからといって、特定の食品ばかり摂取するのは、好ましくありません。このような食品を取り入れながら、日頃からバランスのよい食事を心掛けましょう。



病院の清掃業務には、日常清掃・臨時清掃・定期清掃の3つがあります。日常清掃は、主に日々の病棟清掃とトイレ清掃です。臨時清掃は、一定周期で換気扇や壁・扉などの清掃を行います。定期清掃としては、毎月特定エリアのワックス清掃を行っています。また、他にも全館の窓ガラス清掃などを実施しています。

ところで、病気やけがの時は普段よりも周囲の環境に敏感になるものです。通院や入院をするなら、できるだけ快適な環境で過ごしたいと思うことでしょう。清潔で、きれいな病院は、患者さんに安心感・信頼感を与えると同時に、病院で働くスタッフにとっても、ストレス無く医療業務に専念できる場となります。私たちは、病院清掃業務で重要なことは、「感染対策・清掃タイミング・清潔さ」だと考えています。感染対策では、担当者は病院感染対策チームの指導の下で研修を受けており、決められたルールを遵守して清掃を行っています。また、1・2階外来待合の床・トイレなどは、診察開始時間までに清掃を終わらせていないと、ご迷惑をおかけすることになってしまいます。気持ちいいと思っていただくには、清潔さも必要ですが同時に清掃が終わっていることのタイミングも重要です。

私たち清掃業務担当者は、病院で働く人、通院・入院されている患者さんにとって、気持ちいいと思っていただける環境づくりを念頭に、毎日清掃業務を行っています。

## 平成28年度診療報酬改定について

平成28年4月に2年に一度の診療報酬改定が実施されました。

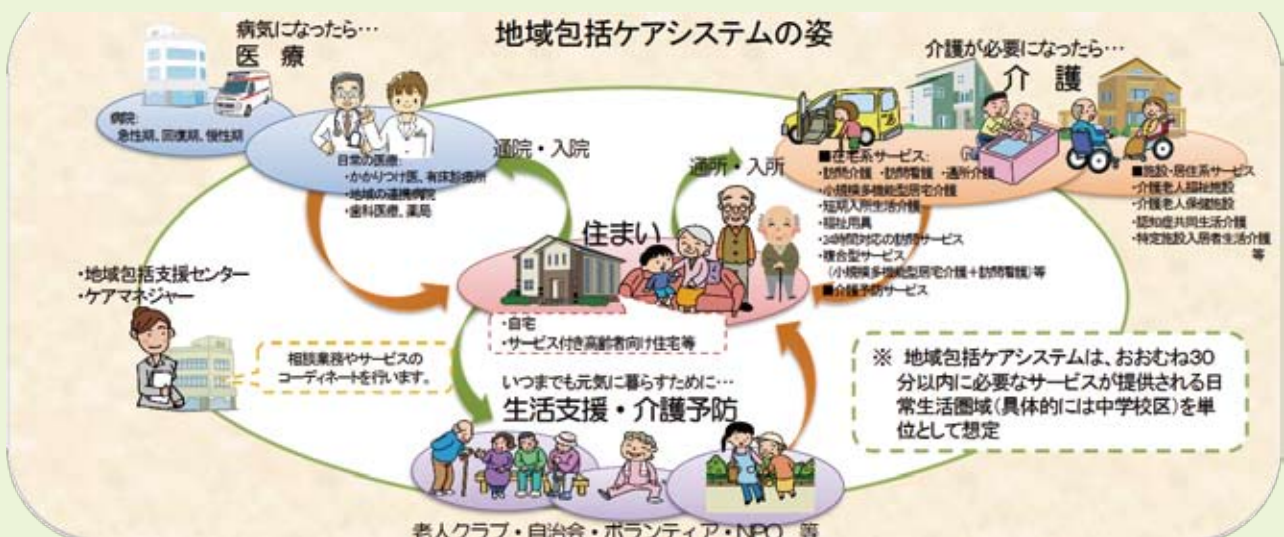
今回の改定の重点課題は次のとおりです。

- ・2025年（平成37年）に向けて、地域包括ケアシステムと効果的・効率的で質の高い医療提供体制の構築を図る。
- ・地域包括ケアシステムの推進と医療機能の機能分化・強化、連携に関する充実等に取り組む。

地域包括ケアシステムとは団塊の世代が75歳以上となる平成37年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予

防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制であります。

過度な病院頼みから抜け出し、住民のQOL（Quality of Life）の維持・向上を目標として、住み慣れた地域で人生の最後まで、自分らしい暮らしを続けることができる仕組みとするためには、病院・病床や施設の持っている機能を、地域の生活の中で確保することが必要となります。すなわち、医療サービスや介護サービスだけでなく、住まいや移動、食事、見守りなど生活全般にわたる支援を併せて考える必要があります。



当院も新築移転して1年が過ぎましたが、この改定の趣旨を踏まえ、基本理念でもある“市民が安心して暮らせ、心の支えとなる病院”づくりに尽力したいと考えております。

## 病院での承諾書の運用について



当院では、患者さんの治療にあたり、その治療における様々な処置行為をする際には、よりわかりやすく説明し、納得していただけるよう日々努めております。病院の方針として、「説明と同意」をより強化するため、これまで口頭で説明し実施しておりました簡単な縫合や切開等の処置に

ついても、きちんと同意書をいただくことになりました。患者さん、ご家族の方には、同意書に署名をいただくことが多くなり、お手数をおかけすることになりますが、ご理解いただきご協力の程よろしくお願い致します。

## インターンシップ（職業体験）を開催しました

3月24日に平成29年卒業見込みの看護学生（17名）を対象にインターンシップを行いました。病院見学で院内のさまざまな部署を回ったり、学生同士で看護体験を行ったりと、看護師として働くためのイメージづくりができたのではないかと思います。また、1～2年目の先輩看護師との交流の機会を設けたことで、感想や意見を直に聞くことができ、病院の雰囲気を「見て」「聞いて」「感じる」ことができたと大好評でした。



## 新人看護師の成長を確認しました

3月12日に16名の新人看護師を対象にOSCE（臨床実践能力評価）を行いました。これは教育チームが主催しています。毎年3月中頃に行い今年度で8回目を迎えます。今年は「感染対策」と「安全管理」の2ブースの課題に対して模擬患者の前で看護

ケアを行い、認定看護師やチーム代表者が評価を行いました。昨年4月に就職した新人看護師は、終了直後に結果情報の伝達を受け、一年間の成長を確認することができました。4月からは先輩看護師として、より一層、知識と技術を高めて欲しいと願っています。



## 新任ドクター

よろしくお願ひします



### 多田 尚矢 (ただ なおや)



生年月日 1989年6月29日  
出身地 香川県  
経歴 香川大学医学部 卒業  
専門分野 消化器内科  
趣味・特技 野球・スポーツ観戦  
DVD鑑賞

### 森 誠治 (もり せいじ)



生年月日 1963年7月22日  
出身地 香川県  
経歴 香川医科大学 卒業  
香川医科大学 第一外科医員  
香川医科大学 第一外科助手  
坂出市立病院 外科医長  
さぬき市民病院 外科医長  
社会保険栗林病院 外科医長  
消化器外科・肝胆膵外科  
専門分野 消化器外科  
趣味・特技 ゴルフ

### 阪部 雅章 (さかべ まさあき)



生年月日 1984年4月3日  
出身地 奈良県  
経歴 香川大学医学部 卒業  
香川大学医学部附属病院  
消化器外科医員  
聖隷三方原病院 外科医員  
専門分野 一般外科・消化器外科  
趣味・特技 スポーツ観戦

### 山鳥 佑輔 (やまどり ゆうすけ)



生年月日 1983年6月13日  
出身地 岡山  
経歴 香川大学医学部 卒業  
香川大学医学部附属病院  
麻酔・ペインクリニック科  
医員  
専門分野 麻酔科  
趣味・特技 温泉旅行

### 池田 敏裕 (いけだ としひろ)



生年月日 1985年9月16日  
出身地 愛知県  
経歴 香川大学医学部 卒業  
香川大学医学部附属病院  
呼吸器外科医員  
専門分野 呼吸器外科  
趣味・特技 剣道・フットサル

### 井上 達史 (いのうえ たつし)



生年月日 1972年6月18日  
出身地 兵庫県  
経歴 香川医科大学 卒業  
東京警察病院 外科医員  
昭和大学医学部附属豊洲病院 員外助手  
香川大学医学部 消化器外科助教  
香川大学医学部 腫瘍病理学助教  
香川県済生会病院 消化器外科部長  
一般外科・消化器外科・消化器内視鏡  
テニス・ゴルフ・アウトドア・天体観測  
専門分野 消化器外科  
趣味・特技 テニス・ゴルフ・アウトドア・天体観測

### 森重 浩光 (もりしげ ひろみつ)



生年月日 1973年10月22日  
出身地 広島県  
経歴 香川大学医学部 卒業  
香川大学医学部附属病院 整形外科医員  
さぬき市民病院 整形外科医員  
香川県済生会病院 整形外科医長  
専門分野 整形外科  
趣味・特技 ランニング、読書

## 退任ドクターのご案内



内科医員  
山名 浩喜



外科医長  
橋本 希



外科医長  
竹林 隆介



整形外科医員  
山本 修士



麻酔科医長  
植村 直哉



# 特殊外来・専門外来予定表

平成28年4月1日現在

診療時間

午前 8:30～11:30

午後 13:30～16:30



※ 詳細は、各科外来窓口にお問い合わせください。(診療時間内をお願いします。)

診療科名	外来名等	担当医師名	診療時間・曜日	特徴など
内科	呼吸器	日本呼吸器学会指導医 中村 洋之	午前：月～木曜日 午後：水曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気管支喘息、肺炎、結核症および非結核性抗酸菌症、慢性閉塞性肺疾患、呼吸不全、びまん性肺疾患、肺癌、緩和医療など幅広く呼吸器疾患全般へ対処。</li> <li>・急性呼吸不全に対しては、非侵襲的および侵襲的人工呼吸療法を中心とした全身管理。慢性期には包括的呼吸リハビリテーションを施行。</li> <li>・睡眠時無呼吸症候群の診療も扱います。</li> </ul>
		日本内科学会認定内科医 井上 卓哉	午前：金曜日 午後：月・水曜日	
	禁煙	禁煙科学学会認定禁煙支援専門医 吉原 夕美子	要予約（ご相談）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・禁煙補助剤（パッチ、飲み薬）を使用しながらニコチン依存症の治療を行います。条件によっては、保険適用可能です。</li> </ul>
	循環器	日本循環器病学会認定循環器専門医 吉川 圭	午前：水・金曜日 午後：月曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虚血性心疾患、心不全、不整脈など循環器救急への24時間対応を含め、広く循環器一般を扱います。</li> </ul>
		日本循環器病学会認定循環器専門医 藤田 憲弘	午前：火曜日 午後：水・木曜日	
		日本循環器病学会認定循環器専門医 吉原 夕美子	午前：火曜日	
		日本内科学会 飛梅 淳	午前：木曜日 午後：火曜日	
	消化器	日本消化器内視鏡学会専門医 室田 將之	午前：火曜日 午後：木曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・胃腸、肝胆膵領域を中心に消化器疾患全般を扱います。特に腹部超音波、内視鏡検査によりの確に診断し、消化器癌の早期発見・治療に努めています。</li> </ul>
		日本内科学会 琢磨 慧	午前：月曜日 午後：木曜日	
		日本内科学会 多田 尚矢	午前：水・金曜日	
	糖尿病	日本糖尿病学会研修指導医 大工原 裕之	午前：月～金曜日 午前：第2土曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経口薬でコントロール不良となっている糖尿病のコントロールを改善します。</li> <li>・糖尿病療養指導士の資格を持ったスタッフと共に、患者さんの生活習慣改善に努めます。</li> </ul>
		日本糖尿病学会研修指導医 大島 都美江	午前：木曜日 午後：火曜日	
	血液/漢方	日本血液学会指導医 田岡 輝久	午前：月・水曜日 午後：金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧血から白血病、悪性リンパ腫まで幅広く血液疾患を診察します。</li> <li>・西洋医学の不得意な慢性病に非常に効果がある漢方診療もしております。</li> </ul>
	血液	日本血液学会専門医 松岡 亮仁	午後：火・金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貧血から白血病、悪性リンパ腫まで幅広く血液疾患を診察します。</li> </ul>
	腎臓	日本腎臓学会専門医 西岡 聡	午前：月曜日（隔週）・木曜日 午後：金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腎疾患の専門的治療を行います。</li> </ul>
小児科	アレルギー	日本小児科学会専門医 谷本 清隆	午後：第3火曜日（14:00～16:00）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギーの患者を対象とした専門外来。</li> </ul>
外科	下肢静脈瘤	日本外科学会指導医 近藤 昭宏	午前：火曜日（10:30～）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢静脈瘤だけでなく類似疾患、静脈疾患も対象とした専門外来です。</li> <li>・ストーマ（人工肛門）の経過観察、ストーマ処置の指導や治療・相談などを行っています。</li> </ul>
	ストーマケア	日本外科学会専門医 井上 達史	午前：水曜日	
整形外科	リウマチ	日本リウマチ学会専門医 田村 知雄	午後：第1・第3金曜日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初診時は、一般外来の受診が必要です。</li> </ul>
	膝・骨粗鬆症	日本整形外科学会専門医 真柴 賛	午後：月曜日（月2回）	
	脊椎	日本脊椎骨髄病学会認定脊椎骨髄外科指導医 小松原 悟史	午前：土曜日（月2回）	

(診療時間 午前 8:30～11:30 午後 13:30～16:30)

# 外来診療予定表

平成28年4月1日現在

		初めての方	再来の方			
受付時間	午前	8:30~11:30	8:00~11:30	診療時間	午前	8:30~11:30
	午後	13:00~16:30			午後	13:30~16:30

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	初診・総合	吉原 夕美子	谷本千佳子 (2・4週前半) 田岡 輝久 (2・4週後半) 大島 都美江 (1・3・5週)	谷本 千佳子	田岡 輝久 (1・5週) 青江 真吾 (2・4週) 井上 卓哉 (3週)	藤田 憲弘	交代診療 下記の専門外来も 行います。  大工原 裕之 糖尿病(第2週)	
	呼吸器	中村 洋之	中村 洋之	中村 洋之	中村 洋之	井上 卓哉		
	循環器	紹介患者	藤田 憲弘 吉原 夕美子	吉川 圭	飛梅 淳	吉川 圭		
	消化器	琢磨 慧	室田 將之	多田 尚矢	紹介患者	多田 尚矢		
	糖尿病	大工原 裕之	大工原 裕之	大工原 裕之	大工原 裕之 大島 都美江	大工原 裕之		
	血液・漢方	田岡 輝久	紹介患者	田岡 輝久	紹介患者	紹介患者		
	腎臓	西岡 聡 (隔週)			西岡 聡			
	禁煙	「禁煙外来」を予約制で行っておりますので、ご相談ください。						は 休診です
	午後	吉川 圭 (循環器)	大島 都美江 (糖尿病)	藤田 憲弘 (循環器)	室田 將之 (消化器) 琢磨 慧	田岡 輝久 (血液・漢方)		
		井上 卓哉 (呼吸器)	松岡 亮仁 (血液・総合)	吉川 圭 (ペースメーカー)	藤田 憲弘 (循環器)	松岡 亮仁 (血液・総合)		
飛梅 淳 (循環器)			井上 卓哉 (呼吸器)	白神 悟志 (総合内科)	西岡 聡 (腎臓)			
小児科	午前	砂川 正彦 和唐 彰子 及川 薫	谷本 清隆 川崎 綾子	及川 薫 和唐 彰子 砂川 正彦	谷本 清隆 和唐 彰子 川崎 綾子	砂川・和唐 川崎 岡大医師	交代診療	
	午後	谷本 清隆 及川 薫	及川 薫 川崎 綾子 <small>予防接種 乳幼児健診 アレルギー外来 (第3週)</small>	谷本 清隆 及川 薫	砂川 正彦 及川 薫 川崎 綾子	及川・川崎 岡大医師 <small>予防接種 乳幼児健診</small>		
耳鼻咽喉科	午前	武田 純治 香川大医師	武田 純治 (初診のみ)	武田 純治 香川大医師	武田 純治 (初診のみ)	武田 純治 香川大医師		
	午後	武田 純治 香川大医師		武田 純治 香川大医師		武田 純治 香川大医師		
外科	午前	近藤 昭宏	岡田 節雄	森 誠治	岡田 節雄	森 誠治	阪部 雅章	
		佐野 貴範	井上 達史	近藤 昭宏	阪部 雅章	近藤 昭宏		
	午前専門外来		Ⓞ近藤 昭宏 下肢静脈瘤	Ⓞ井上 達史 ストーマケア			乳がん 検診 第1・2・4・5週 橋本 希 (完全予約制)	
	午後	紹介患者 (要事前確認)	橋本 希	紹介患者(午後は手術等がありますので、事前に電話等でのご確認をお願いします。)				
呼吸器外科	午後	中野 淳		中野 淳				
脳外科	午後			香川大医師				
整形外科	午前	一診	松下 誠司	松下 誠司	松下 誠司	松下 誠司	交代診療	
		二診	森重 浩光	根ヶ山 敬大	森重 浩光	根ヶ山 敬大	森重 浩光	
	午後	初診	根ヶ山 敬大	森重 浩光	根ヶ山 敬大	森重 浩光	根ヶ山 敬大	小松原 悟史 背腫外来(月2回)
		一診	根ヶ山 敬大			森重 浩光		
		初診	森重 浩光			根ヶ山 敬大		
午後専門外来 (予約)	真柴 賛 <small>膝・骨粗鬆症(月2回)</small>				田村 知雄 <small>第1・3週リウマチ</small>			
産婦人科	午前	香川大医師	戸田 千	戸田 千	香川大医師	戸田 千		
	午後	戸田 千			戸田 千			
泌尿器科	午前	山本 議仁 三浦 高慶	山本 議仁 三浦 高慶	山本 議仁 三浦 高慶	山本 議仁 三浦 高慶	山本 議仁 三浦 高慶		
	午後			予約患者のみ		予約患者のみ		
眼科	午前	大垣 修一	大垣 修一	大垣 修一	大垣 修一	大垣 修一	※当分の間、初診受付(紹介患者を除く)を休診しております。	
	午後	(検査)	(検査)	(検査)	(検査)	(検査)		

さかいでしりつびょういん

**坂出市立病院**  
SAKAIDE CITY HOSPITAL

〒762-8550 香川県坂出市寿町三丁目1番2号  
電話 (0877) 46-5131 (代表)  
FAX(0877)46-2377

E-mail:hospisaka@mail.kbn.ne.jp  
坂出市立病院ホームページ  
http://www.city.sakaide.lg.jp/site/sakaide-hospital/  
携帯アクセス●ホームページのURLへアクセスして下さい。